

IEEE1394 Memory Card READER

メモリーカードリーダー・
ユーザーズマニュアル

LMC-CA92F

目次

取扱い上のご注意	1
付属品の確認	3
ごあいさつ	4
ご注意	4
第1章 製品のご紹介	5
1.1 製品概要	5
1.2 各部の名称と機能	10
1.3 メディアのセット方法	12
第2章 Macintosh 環境の場合	16
2.1 接続について	16
2.2 メモリーカードへのアクセス	17
2.3 補足事項	18
2.3.1 メモリーカードの取り出し方法について	18
2.3.2 本製品を取り外す場合は	19
2.4 その他	19
第3章 Windows 環境の場合	20
3.1 接続の前に -IEEE1394 ドライバのアップデート-	20
3.2 接続の手順	21
3.3 メモリーカードへのアクセス	22
3.4 カードの取り出しについて	24
3.5 本製品を取り外す場合は	25
3.6 その他	28
第4章 補足事項	29
4.1 トラブルシューティング	29
4.2 省電力モードの設定について	31
4.3 IEEE1394 機器の増設について	33
4.4 オプション品について	35
ハードウェア仕様	36

取扱い上のご注意

本製品を正しく安全に使用するために

- ・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- ・本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。

表示について

- ・この「取扱い上のご注意」では以下のような表示(マークなど)を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。



この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。



この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。



三角のマークは何かの注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。



丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。



塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行なわなければならないことを意味します。丸の中には行なわなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かななければならないことを意味します。

警告

濡れた状態で使用しないでください。

メモリーカードに水などの液体が付着した状態で、本製品に装着しないでください。故障、感電、火災の原因となります。



分解 / 改造しないでください。

本製品を絶対に分解 / 改造しないでください。感電や火災の危険があります。分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。



万一、異常が発生したとき。

本製品もしくはパソコン本体から異臭、異音 や煙が出た時は、ただちにパソコンの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



注意

対応メディア以外は装着しないでください。

本書に記載された対応メディア以外は装着しないでください。規格の相違から故障、火災の原因となります。また、本製品内部にメディア以外の金属片などを挿し込まないでください。



その他の禁止事項

本製品をパソコンから取り外した後に再び接続する場合は、5秒以上時間を空けてください。

1・2・3・4・5



その他：こんなことも注意してください。

- ・本製品は精密機器です。落としたり、強い衝撃を加えないでください。
- ・静電気の発生しやすい場所、高温 / 多湿の場所、長時間直射日光にあたる場所での使用 / 保管は避けてください。
- ・温度 / 湿度が急激に変化すると、内部結露により誤動作する場合があります。気温の低いところから高いところへ移動した場合は、しばらく放置して周囲の気温と同程度になってからご使用ください。
- ・本製品が汚れた場合は、水または中性洗剤を少量含ませた柔らかい布で拭いてください。ベンジンやシンナーを使用すると変形 / 変色の原因となります。



ご注意

当社 DOS/V 対応製品は、OADG(*1)加盟メーカーの DOS/V パソコンで一般に市販されている製品を想定して設計されています。しかし、接続確認については全ての機種を確認することは不可能ですので、代表的な製品のみで確認を行っております。

そのため、本製品を使用できない、または本製品の機能を使用できないパソコンが一部に存在する可能性があることは、ご了解いただきますようお願いいたします。特に自作パソコンやショップ組立てパソコンでは、コストの問題やパフォーマンスの追求のため、想定外の部品が使用されている場合があります。このような場合、相性問題などが発生する可能性が高くなることをご承知おきください。

(*1)OADG は「PC オープンアーキテクチャー推進協議会」の略です。

(OADG URL <http://www.oadg.or.jp/>)

付属品の確認

メモリーカードリーダー/ライター	1 台
IEEE1394 ケーブル (6 ピン - 6 ピン)	1 本
保証書 / ユーザー登録カード	1 枚
メモリーカードリーダー・ユーザーズマニュアル	本書

* Windows[®]は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国での登録商標です。Macintosh、Mac OSは米国アップルコンピュータ社の登録商標です。本書に記載されているパソコンの機種名等は各社の商標または登録商標です。

ごあいさつ

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書は製品に関する設定 / 接続方法、機能 / 仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社製品によって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、 項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

本製品を使用して保存したデータが、ハードウェアの故障、誤動作、その他のような理由によって破壊された場合でも、弊社での保証はいたしかねます。万一に備えて、重要なデータはあらかじめバックアップするようお願いいたします。

弊社は、本製品の仕様 お客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

第 1 章

製品のご紹介

1. 1 製品概要

本製品は、パソコンの IEEE1394 ポートへ接続が可能なメモリーカードリーダー/ライターです。メモリースティック、SmartMediaカード、CompactFlashカード、SDメモリーカード、xDピクチャーカード等多くのメディアを使用することができます。

本製品の特徴

IEEE1394規格に準拠した高速データ転送が可能なため、大容量カードの使用に最適です。

メモリースティック、メモリースティックPRO、SmartMediaカード、SDメモリーカード、マルチメディアカード、Flash-ATAカード、ハードディスクカードは、アダプタなしで直接本製品にセットしてご使用いただくことができます。

IEEE1394のバスパワーで動作しますので、パソコン側のIEEE1394ポートがバスパワーに対応している場合は本製品を接続すればすぐに使用可能となります。

また、PCカードタイプのIEEE1394拡張インターフェース経由での接続やiLink経由での接続などバスパワーによる電源供給を行えない場合も、別売のACアダプタを使用すれば使用可能となります。(ただし、接続に6ピン-4ピンタイプのIEEE1394ケーブルが必要な場合は、別途お買い求めいただく必要があります。別売品については「4.4 オプション品について」をご参照ください。)



重要なお注意

- ・本製品はスリープやスタンバイなどの省電力モードには対応していません。本製品ご使用の際は、必ず省電力モードをOFFにしてご使用ください。詳しくは「4.2 省電力モードの設定について」をご参照ください。
- ・本製品のPCMCIAスロットはメモリーカード専用です。LANカードやモデムカードのようなI/Oカードを接続して使用することはできません。

対応 OS

本製品は、以下の OS で使用することができます。すべて日本語 OS のみに限定されます。また、パソコン本体が対応していない OS では使用することができません。

Macintosh 環境の場合

- ・ Mac OS 9.1 ~ Mac OS 9.2.2 まで
- ・ Mac OS X 10.1.3 以降

Windows 環境の場合

- ・ Windows XP Home Edition/Professional
- ・ Windows Me
- ・ Windows 98 Second Edition
- ・ Windows 2000 Professional

使用可能なメディア

本製品では、以下のメディアを使用することができます。

本製品に直接セットできるもの

メモリースティック (*1) / メモリースティック PRO (*2)

- *1 メモリーセレクト機能付きのものともメモリースティックデュオを含みます。メモリースティックデュオを使用する場合はメモリースティックデュオ専用のアダプタを装着してください。
- *2 データ転送方式はシリアル転送のみ。

SD メモリーカード (*3) / マルチメディアカード

SmartMedia カード (ID 情報付きを含みます。)(*4)

4MB(3.3V) , 8MB(3.3V) , 16MB(3.3V) , 32MB(3.3V) ,
64MB(3.3V) , 128MB(3.3V)

- *3 miniSD メモリーカードを含みます。使用する場合は、miniSD 専用のアダプタを装着してください。
- *4 5V 仕様のカード、2MB の SmartMedia はご使用になれません。使用可能な SmartMedia は 4MB ~ 128MB (3.3V 仕様) のものとなります。

1.1 製品概要

FLASH-ATA カード

PCMCIA 2.1/JEIDA Ver4.2 準拠のカードが使用可能です。

ハードディスクカード (*5)

- ・LPM-HD1G,HD2G,HD5G (弊社製)
- ・東芝 モバイルディスク

アダプタが必要なもの

CompactFlash カード

CompactFlash Association に準拠したカードが使用可能です。本製品付属のCompactFlashカード用アダプタに装着して使用します。

microdrive (*5)

microdrive 用 PC カードアダプタが別途必要です。

xD ピクチャーカード

xDピクチャーカード用PCカードアダプタが別途必要です。

*5 その他のメモリーカードとの同時使用はできません。これらのメモリーカードを使用する場合は必ず他のメモリーカードを取り外しておいてください。



ご注意

- ・本製品のマルチスロットには同時に複数のカードをセットすることはできません。
 - ・本製品はメモリーカードの持つ、著作権保護機能(マジックゲート機能等)、ID 機能等には対応しておりません。それらの機能をもつメモリーカードを使用する場合、通常メディアとして認識されます。
 - ・メモリースティック PRO の高速転送には対応しておりません。
 - ・SmartMedia カードを SmartMedia 用 PC カードアダプタにセットして本製品の PCMCIA スロットで使用することはできません。本製品の SmartMedia スロットへ直接セットしてください。
 - ・SmartMedia は、フォーマットのクラスタサイズが規格で決められています。これを Windows 標準のフォーマットなどでフォーマットすると、クラスタサイズが変わってしまうことがあります。
 - ・本製品でフォーマットを行うとデジタルカメラ等から認識されなくなる場合があります。各メモリーカードをデジタルカメラ等でも使用される場合は、本製品では絶対にフォーマットを行わないで下さい。
 - ・本製品の PCMCIA スロットはメモリーカード専用です。LAN カードやモデムカードのような I/O カードを接続して使用することはできません。
-

Point

ポイント

対応パソコン、対応 OS、使用可能なメディアなどの最新の情報については弊社ホームページをご参照ください。

<http://www.logitech.co.jp/>

1 . 2 各部の名称と機能

本製品前面

マルチスロット

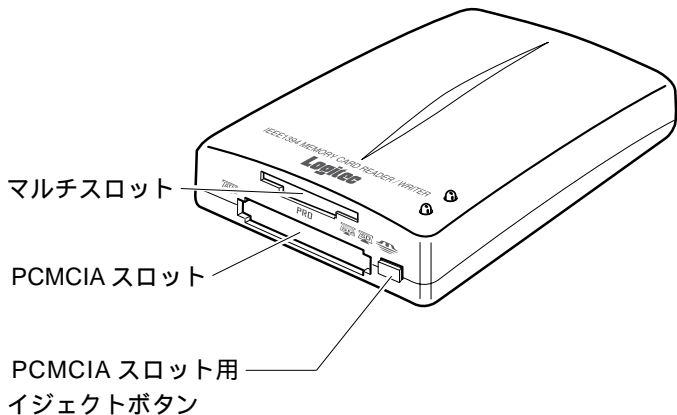
メモリースティック、メモリースティック PRO、SDメモリーカード、マルチメディアカード、SmartMediaカードをセットするスロットです。ただし、複数のメモリーカードを同時にはセットできませんのでご注意ください。

PCMCIA スロット (TYPE 仕様)

ハードディスクカードや CompactFlash カード、microdriveなどをセットするスロットです。アダプタが必要なカードの場合には、アダプタに装着してセットします。

PCMCIA スロット用イジェクトボタン

PCMCIAスロットにセットされたカードを取り出すためのボタンです。カードがセットされた状態でボタンが飛び出しますので、取り出す際にボタンを押し込みます。



本製品天面

電源表示ランプ（緑色）

付属の IEEE1394 ケーブルで本製品とパソコンを接続すると点灯します。別売の AC アダプタを接続した場合も、このランプが点灯します。

アクセス表示ランプ（赤色）

本製品用のドライバがインストールされている状態で、本製品にセットしたメディアに対してアクセスが行われると、「点滅」します。（この表示ランプはセットしたすべてのメモリーカードに対して同じ働きをします）

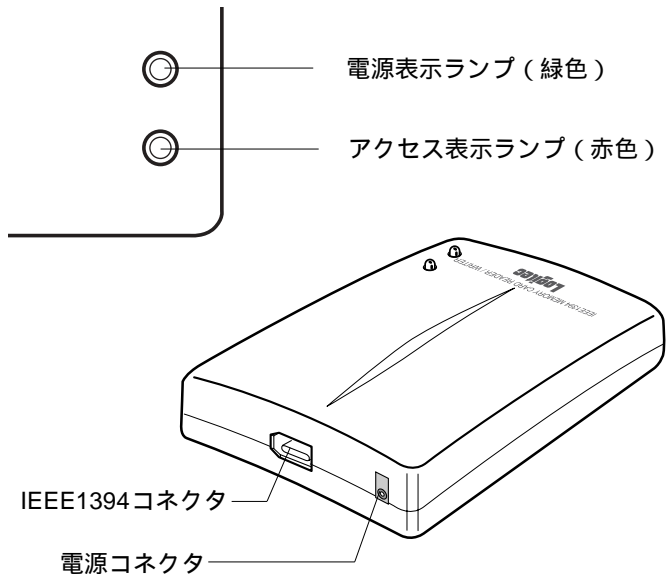
本製品背面

IEEE1394 コネクタ

付属の IEEE1394 ケーブルでパソコン本体の IEEE1394 ポートと接続します。

電源コネクタ

PC カードタイプの IEEE1394 拡張インターフェースでの接続や iLink 経由での接続など、バスパワーによる電源供給を十分に行えない場合ここにオプションの AC アダプタ（別売）のプラグを接続します。AC アダプタは AC100V のコンセントに接続してください。



1.3 メディアのセット方法

ここでは、本製品で使用可能なメディア(代表的なもの)のセット方法と取り出し方法を説明します。

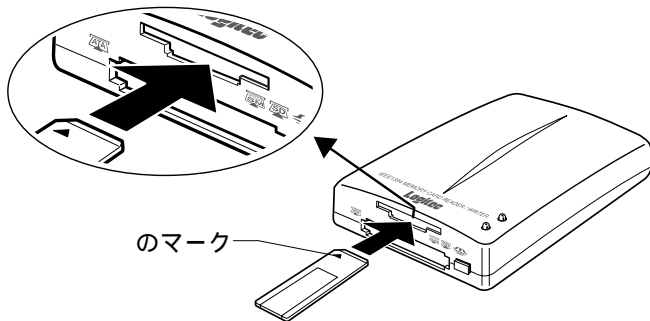


ご注意

本製品がパソコン本体に接続されている状態でメディアの取り出しを行う場合、いくつか重要な注意事項があります。これらの注意事項は第2章、第3章で使用環境ごとに説明していますので必ずご参照ください。

メモリースティックのセット方法

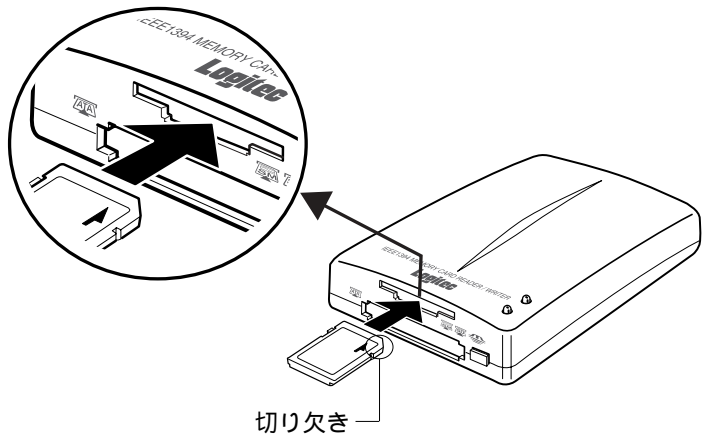
本製品にメモリースティックをセットする場合には、接点(金メッキが施されている部分)がある面を下にして、下図のようにマルチスロットに静かに差し込んでください。奥のストッパーに突き当たると、それ以上は差し込めませんので無理に力を加えないでください。メモリースティックが数mmほど飛び出した状態になります。



メモリースティックを取り出す場合には、そのまま静かに引き抜いてください。いずれの場合にも、接点には触れないでください。メモリースティックPROをセットする場合も同様の手順で行います。メモリースティックデュオを使用する場合はメモリースティックデュオ専用のアダプタを装着してから、マルチスロットにセットします。

SDメモリーカードのセット方法

本製品にSDメモリーカードをセットする場合は接点(金メッキが施されている部分)がある面を下にして、下図のようにマルチスロットに静かに差し込んでください。奥のストッパーに突き当たると、それ以上は差し込めませんので無理に力を加えないで下さい。SDメモリーカードが数mm程飛び出した状態になります。



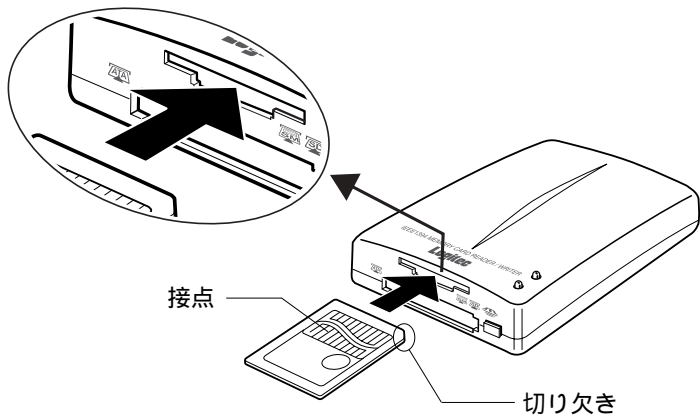
SDメモリーカードを取り出す場合には、そのまま静かに引き抜いてください。いずれの場合にも接点には触れないで下さい。

マルチメディアカードの場合も同様の手順でセット・取り出しを行います。

miniSDメモリーカードを使用する場合は、miniSD専用のアダプタに装着してから、マルチスロットにセットします。

SmartMedia カードのセット方法

本製品にSmartMediaカードをセットする場合には、カードの接点（金メッキが施されている部分）側を上にして、カードの切り欠きを奥に向けて、マルチスロットに静かに差し込んでください。奥のストッパーに突き当たると、それ以上は差し込めませんので無理に力を加えないでください。カードが数mmほど飛び出した状態になります。

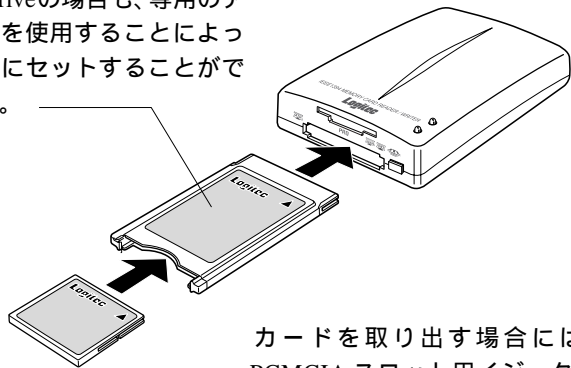


カードを取り出す場合には、そのまま静かに引き抜いてください。いずれの場合にも、カードの接点に触れないように注意してください。

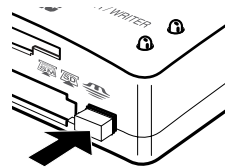
PCMCIA スロット対応カードのセット方法

本製品のPCMCIAスロットにCompactFlashをセットする場合には、カードを CompactFlash カード用アダプタ（別売品）に装着してから、PCMCIA スロットに静かに差し込んでください。カードは表の面（イラストが記載された面）を上にして装着してください。アダプタを最後まで差し込むと、PCMCIA スロット用イジェクトボタンが7mmほど飛び出した状態になります。（正しく装着された状態で、アダプタは本製品の前面から飛び出しません。）

microdriveの場合も、専用のアダプタを使用することによって同様にセットすることができます。



カードを取り出す場合には、PCMCIA スロット用イジェクトボタンを押し込んでください。



PC Card Standard準拠のTYPE 仕様のメモリーカード（ハードディスクカード、FLASH-ATAカード）は、直接 PCMCIA スロットにセットします。

xD ピクチャーカード、microdrive をご使用の場合は専用の PC カード用アダプタにセットしてご使用ください。

第2章

Macintosh 環境の場合

本章では Macintosh 環境での本製品の取り扱いについてご説明します。

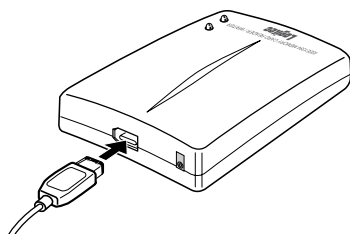
2.1 接続について

1

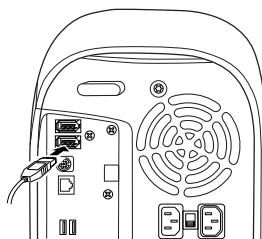
パソコンの電源をONにして、Macintoshのシステムを起動してください。

2

付属の IEEE1394 ケーブル (6 ピン -6 ピン) で本製品の IEEE1394 コネクタ (6 ピン) とパソコン側の IEEE1394 ポート (6 ピン) を接続してください。



本製品側



Macintosh 側

3

Macintosh側から自動的に認識され、電源表示ランプが緑色に点灯します。以上で接続は終了です。

!

ご注意

複数の IEEE1394 機器を接続し、十分にバスパワーを得られない場合は、別売の AC アダプタを本製品に接続してご使用ください。詳しくは「4.4 オプション品について」をご参照ください。

ACアダプタは、いったん本製品をパソコンから取り外してから接続してください。メモリーカードの読み書き中に AC アダプタを接続すると、故障の原因となります。

2.2 メモリーカードへのアクセス

本製品を接続後、使用するメディアを本製品の対応スロットにセットすると、リムーバブルディスクのアイコンがマウントされます。マウントされたアイコンをクリックするとセットしたカードにアクセスすることができます。



名称未設定

Mac OS 9.2.2 以前で
表示されるアイコン



Mac OS X 10.1.3 以降で
表示されるアイコン

Point

ポイント

メモリーカードやカードアダプタによっては専用のドライバをインストールするようにマニュアルなどで指示されていますが、本製品にセットする場合はドライバのインストールなどは必要ありません。接続しただけで使用可能な状態になります。

2.3 補足事項

2.3.1 メモリーカードの取り出し方法について



本製品にセットしたメディアを取り出したい場合には、必ずアンマウントを実行してください。アンマウントは以下のいずれかの方法で行います。

- ・ デスクトップ上のアイコンをゴミ箱にドラッグ&ドロップする。
- ・ デスクトップ上のアイコンをクリックして選択状態にして、「特別」メニューの「取り出し」を選択する。(Mac OS Xの場合は「ファイル」メニューの「取り出し」を選択)
- ・ デスクトップ上のアイコンをクリックして選択状態にして、キーボードから「アップル + E」キーを入力する。

いずれの方法でアンマウントした場合も、「メディアを取り外します」とダイアログが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてから、メディアを取り出してください。(Mac OS Xではこのメッセージは表示されません。アンマウント操作後数秒たってからメディアを取り外してください。)



ご注意

システムがスリープモードになっているときにアンマウントを実行しないでください。(本製品はスリープモードには対応していません。「4.2 省電力モードの設定について」を参照してあらかじめスリープをOFFにしておいてください。)

2.3.2 本製品を取り外す場合は

本製品はIEEE1394インターフェースを採用しているため、ホットプラグ(パソコンの電源がONになっている状態での取り付け・取り外し)が可能です。ただし、以下の点には注意してください。

- ・本製品を取り外す場合は、必ずすべてのメディアをアンマウントして、本製品から取り出しておいてください。
- ・パソコン本体がスリープ状態にあるときには、本製品の取り外しは行わないでください。

2.4 その他

メディアのフォーマットについて

本製品にセットしたメディアのフォーマットを行いたい場合は、OS標準のフォーマット機能を使用して行います。ただし、デジタルカメラなどで使用しているメディアをこの方法でフォーマットすると、デジタルカメラで認識できなくなる場合があります。

デジタルカメラ等で使用しているメディアのフォーマットは、必ずデジタルカメラ等で行ってください。

ハードディスクカード、microdrive の使用について

その他のメモリカードと一緒にハードディスクカード、microdriveを使用することはできません。ハードディスクカード、マイクロドライブのみを本製品にセットしてご使用ください。

Mac OS 起動の際の注意

本製品にメモリカードをセットした状態で、パソコンのシステムを起動または、再起動すると、セットしたメモリカードを正常に認識しない場合があります。システムの起動後にメモリカードをセットしてご使用ください。

第3章

Windows 環境の場合

本章では Windows 環境での、本製品の使用方法についてご説明いたします。ご使用の OS が Windows 98 の場合、Second Edition でないと本製品を使用することができません。ご使用の Windows 98 が Second Edition かどうかを確認したい場合は、「コントロールパネル」「システム」を起動してください。



上記の部分に「Windows 98 Second Edition」と記載されていれば、本製品を使用することができます。

3.1 接続の前に -IEEE1394 ドライバのアップデート - (Windows 98 Second Edition のみ)

Windows 98 Second Edition には IEEE1394 ドライバが標準添付されていますが、本製品のような IEEE1394 接続の記憶装置を安全に取り外すためのユーティリティ（セーフリムーバブルツール）が添付されていません。

このユーティリティは、マイクロソフト株式会社から供給されている「IEEE1394 デバイスドライバのアップデート」を行うと、システムにインストールされます。

そのため、本製品の接続を行う前に、マイクロソフト株式会社のホームページからアップデートファイルをダウンロードして、「IEEE1394 デバイスドライバのアップデート」を行ってください。アップデートファイルが登録されている場所については、弊社ホームページの以下のアドレスをご参照ください。

<http://www.logitech.co.jp/support/qa/qa/qa0139.html>

ご注意

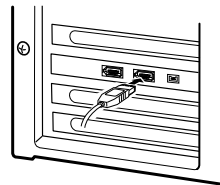
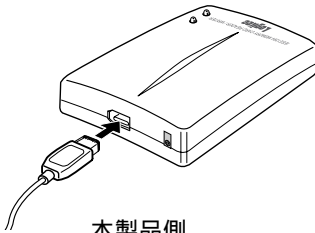
アップデートファイルは各国語版が用意されています。日本語版 Windows 98 Second Edition をご使用の場合、正しいファイル名は以下のようになりますので、ダウンロード時にご確認ください。

242975JPN8.EXE

3.2 接続の手順

パソコン本体の電源をONにして、システムを起動してください。このとき、Windows XP、2000をご使用の場合は、管理者権限をもつユーザー（例えば「コンピュータの管理者」や「Administrator」等）としてログインしてください。

付属のIEEE1394ケーブル（6ピン - 6ピン）で本製品のIEEE1394コネクタ（6ピン）と、パソコン側のIEEE1394ポート（6ピン）を接続してください。



パソコン側から自動的に本製品が認識され、電源表示ランプが緑色に点灯します。以上で接続は終了です。



ご注意

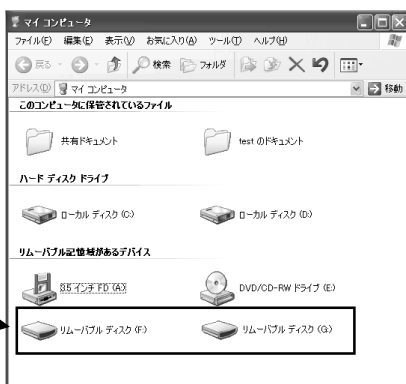
- ・ ご使用のパソコンに4ピンタイプのIEEE1394ポートしか搭載されていない場合は、別売のIEEE1394ケーブル（6ピン - 4ピン）を使用して接続してください。
- ・ 4ピンタイプのケーブルを使用して接続する場合や、CardBusタイプのIEEE1394インターフェースカードに接続する場合には、バスパワーで使用することはできません。別売のACアダプタを本製品に接続してご使用ください。詳しくは「4.4 オプション品について」をご参照ください。

ACアダプタは、いったん本製品をパソコンから取り外してから接続してください。メモリーカードの読み書き中にACアダプタを接続すると、故障の原因となります。

3.3 メモリーカードへのアクセス

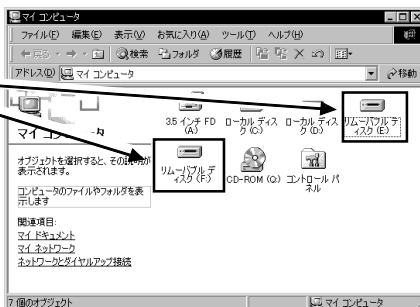
本製品を接続すると以下のようにマイコンピュータ上にリムーバブルディスクのアイコンが2つ追加されます。本製品のPCMCIAスロットもしくはマルチスロットにメモリーカードをセットして、各アイコンをクリックするとセットしたカードにアクセスすることができます。

リムーバブルディスクのアイコンが2つ追加されます。



Windows XP の例

リムーバブルディスクのアイコンが2つ追加されます。



Windows 2000 の例

Pointポイント

- ・追加されたアイコンは、片方がPCMCIAスロットにセットしたメモリーカードに、もう片方がマルチスロットにセットしたメモリーカードに対応します。(どちらのアイコンがそれぞれのスロットに対応するかは、環境により異なります。)
 - ・メモリーカードやカードアダプタによっては専用のドライバをインストールするようにマニュアルなどで指示されている場合がありますが、本製品にセットする場合はドライバのインストールなどは必要ありません。接続しただけで使用可能な状態になります。
-

3.4 カードの取り出しについて

本製品にセットしたメモリーカードを取り出す場合は、以下の点にご注意ください。

セットしたメモリーカードに保存されたデータファイル等が開かれていないことを確認してください。

取り出す前に、アクセス表示ランプが「点滅」していないことを確認してください。

パソコン本体がスタンバイ状態にあるときはメモリーカードの取り出しは行わないでください。(本製品はスタンバイ状態には対応しておりません。「4.2 省電力モードの設定について」を参照してあらかじめスタンバイをOFFにしておいてください。)

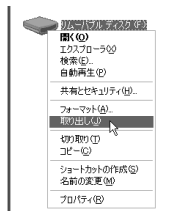
Windows XP、2000 をご使用の場合、以上の点を確認後一定の手順で取り出しを行う必要があります。以下をご参照ください。(Windows Me、98 Second Edition をご使用の場合は、確認後、静かにスロットからメモリーカードを引き抜いてください)

Windows XP、2000 での取り出し手順

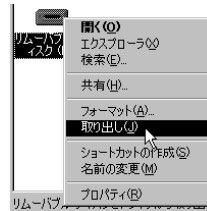
「マイコンピュータ」を開いて、本製品のアイコンを右クリックしてください。

表示されるメニューから「取り出し」を選択してください。

Windows XP の場合



Windows 2000 の場合



数秒待つてから、本製品のスロットよりメモリーカードを静かに取り出してください。

⚠️ ご注意

メニューから「取り出し」を選択する作業は一見無駄なようですが、ライトキャッシュをクリアするために必要です。これを行わないで取り外すと、データが失われる場合がありますので、必ず行ってください。

3.5 本製品を取り外す場合は

本製品はIEEE1394 インターフェースを採用しているため、ホットプラグ（パソコンの電源がONになっている状態での取り付け・取り外し）が可能です。ただし、これを行う場合は、以下の点にご注意ください。

本製品の取り外しは、必ず本製品からメモリーカードをイジェクトしてから行ってください。

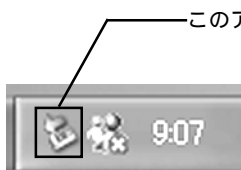
パソコン本体がスタンバイなどの省電力状態にある時には、本製品の取り外しを行わないでください。（本製品は省電力状態には対応していません。「4.2 省電力モードの設定について」を参照してあらかじめ省電力機能をOFFにしておいてください。）

上記の注意事項を確認したら、「アンプラグ」と呼ばれる操作を行い本製品を取り外します。以下をご参照ください。

アンプラグ手順

1

本製品を接続した状態では、タスクバーのシステムトレイに以下のようなPCカードのアイコンが表示されます。このアイコンをクリックしてください。



Windows XP の場合



Windows Me , 98SE、2000 の場合

3.5 本製品を取り外す場合は

2

本製品はパソコン上からは2つのデバイスとして認識されるので、下の図のようにデバイス名が2種類(2デバイス分)表示されます。はじめに、どちらか片方のデバイス名をクリックしてください。(表示されている2つのデバイス名のどちらを先に選択しても構いません。)

クリック

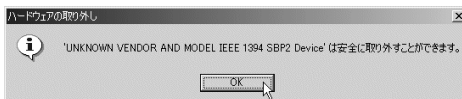


UNKNOWN_VENDOR AND MODEL IEEE 1394 SBP2 Device - ドライブ (F:) を停止します
FireWire Card Reader IEEE 1394 SBP2 Device - ドライブ (E:) を停止します

表示されるデバイス名はOSにより異なります。次ページの「ポイント」欄をご参照ください。

3

デバイスを安全に取り外すことができることを示すメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。(このメッセージもOSにより異なります)



Windows XPの場合は「ハードウェアの取り外し」のフキダシがでて、自動的に消えるので、特に操作をする必要はありません。

4

手順1から3の操作を繰り返し、もうひとつのデバイスも停止させてください。以上でアンプラグ作業は終了です。IEEE1394ケーブルを取り外し、本製品の電源をOFFにしてください。

Point ポイント

表示されるメッセージはOSにより以下ようになります。

Windows XP

- ・ UNKNOWN_VENDOR AND MODEL IEEE 1394 SBP2Device- ドライブ(*)を安全に取り外します。
- ・ FireWire Card Reader IEEE 1394 SBP2 Device- ドライブ(*)を安全に取り外します。

Windows 2000

- ・ UNKNOWN_VENDOR AND MODEL IEEE 1394 SBP2Device- ドライブ(*)を停止します。
- ・ FireWire Card Reader IEEE 1394 SBP2 Device- ドライブ(*)を停止します。

Windows Me

- ・ IEEE 1394 ディスク - ドライブ(*)の停止
- ・ IEEE 1394 ディスク - ドライブ(*)の停止

Windows 98SE

- ・ 1394/USB ディスク - ドライブ(*)の停止
- ・ 1394/USB ディスク - ドライブ(*)の停止

(*)の部分には、デバイスに割り当てられたドライブ名が表示されます。この部分をご使用の環境により異なります。

3.6 その他

メディアのフォーマットについて

本製品にセットしたメディアのフォーマットを行いたい場合は、OS標準のフォーマット機能を使用して行います。ただし、デジタルカメラなどで使用しているメディアをこの方法でフォーマットすると、デジタルカメラで認識できなくなる場合があります。

デジタルカメラ等で使用しているメディアのフォーマットは、必ずデジタルカメラ等で行ってください。

ハードディスクカード、microdrive の使用について

その他のメモリカードと一緒にハードディスクカード、microdriveを使用することはできません。ハードディスクカード、マイクロドライブのみを本製品にセットしてご使用ください。

Windows 起動の際の注意

本製品にメモリカードをセットした状態で、システムを起動または、再起動すると、セットしたメモリカードを正常に認識しない場合があります。システムの起動後にメモリカードをセットしてご使用ください。

第4章

補足事項

4.1 トラブルシューティング

本製品を接続したが認識されない。

ケーブルの接続に接触不良などがないかどうか確認してください。
IEEE 1394 インターフェイスボードのドライバは正しくインストールされていますか？

本製品を別の IEEE 1394 ポートに接続して試してください。

本製品を IEEE 1394 ハブ経由で接続している場合は、パソコンの IEEE 1394 ポートに直接接続して試してみてください。

システム起動の際、本製品にメモリーカードをセットして接続をしていませんでしたか？メモリーカードをセットした状態でシステムを起動または再起動すると、本製品が認識されない場合があります。一度メモリーカードを外して再起動してみてください。

多くの IEEE 1394 機器を接続している場合、ケーブル長の制限、台数の制限を越えていないかどうか確認してください。これらの制限については「4.3 IEEE 1394 機器の増設について」をご参照ください。本製品を 2 台以上接続していませんか？本製品は仕様によりパソコンに複数台接続しても、最初の 1 台目以外は認識されません。

本製品でフォーマットしたメモリーカードをデジタルカメラにセットしたが認識されない。

デジタルカメラでは基本的なフォーマットはパソコンと同じでも、特定のボリュームラベルやフォルダがないと認識されない場合があります。もっとも確実な方法は、そのデジタルカメラで再フォーマットを行うことです。(再フォーマットを行うと、そのメモリーカードに保存されたデータは失われますので必要に応じてバックアップを行ってください。)

特定のメディアに書き込みだけができない。

メモリースティック、SDメモリーカードや SmartMedia には、ライトプロテクト(書き込み禁止)の機能があります。書き込みが禁止されていないかどうかを確認してください。

4.1 トラブルシューティング

特定のメディアをアクセスできない。

そのメディアをフォーマットしたデジタルカメラ等にメディアを戻して、そのメディアが認識できるかどうかを確認してください。これで認識できない場合は、そのメディアはフォーマットが壊れています。デジタルカメラなどで再フォーマットを行ってください。

Macintoshシリーズで本製品のアイコンがデスクトップにマウントされなくなった。

メモリーカードをセットしたまま Mac OS を起動または再起動するとこのような現象が起こる場合があります。一度本製品からメモリーカードを取り外して OS を再起動してみてください。

Windows環境でメディアをセットして「リムーバブルディスク」のアイコンをダブルクリックしたら、「デバイスの準備ができていません」というエラーが発生した。

メモリーカードをセットしたままWindowsを起動または再起動するとこのような現象が起こる場合があります。一度本製品からメモリーカードを取り外して Windows を再起動してみてください。間違ったアイコンをダブルクリックしていないかを確認してください。

メディアを一度取り出して、接点にゴミなどが付着していないかどうかを確認してください。問題ない場合は、しっかりとセットして、もう一度試してみてください。

その他：弊社ホームページについて

弊社ではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページにはソフトウェアのダウンロードコーナーや、各種製品に関するQ&Aコーナーがあります。また、「サポート情報」では「お問い合わせ用紙」や「修理依頼書」などが、PDF形式でダウンロード可能になっていますのでご活用ください。

ホームページアドレス：<http://www.logitec.co.jp/>

4.2 省電力モードの設定について

本製品はスリープやスタンバイなどの省電力モードには対応しておりません。本製品ご使用の際は、以下の手順で必ず省電力モードをOFFにしてご使用ください。

Windows XP の場合

「コントロールパネル」から「パフォーマンスとメンテナンス」を選択し、「電源オプション」を選択してください。

「電源オプションのプロパティ」ウィンドウの「電源設定」タブ内で「システムスタンバイ」を「なし」に設定してください。

「システム休止状態」という項目が表示されている場合はその項目も「なし」に設定します。

Windows 2000 の場合

「コントロールパネル」から「電源オプション」を選択してください。

「電源オプションのプロパティ」ウィンドウの「電源設定」タブ内で「システムスタンバイ」を「なし」に設定してください。

「システム休止状態」という項目が表示されている場合はその項目も「なし」に設定します。

Windows Me、98 Second Edition の場合

「コントロールパネル」から「電源の管理」を起動してください。

「電源の管理のプロパティ」ウィンドウの「電源設定」タブ内で「システムスタンバイ」を「なし」に設定してください。

「システム休止状態」という項目が表示されている場合はその項目も「なし」に設定します。

4.2 省電力モードの設定について

Mac OS 8.6 ~ 9.2.2 の場合

「アップル」メニューから「コントロールパネル」「省エネルギー設定」をクリック。

「省エネルギー設定」ウィンドウで「スリープ設定」タブが選択されていることを確認。

「スリープ設定までの非動作時間」を「しない」に設定してウィンドウを閉じます。

Mac OS X 10.1.3以降の場合

「アップル」メニューから「システム環境設定」をクリック。

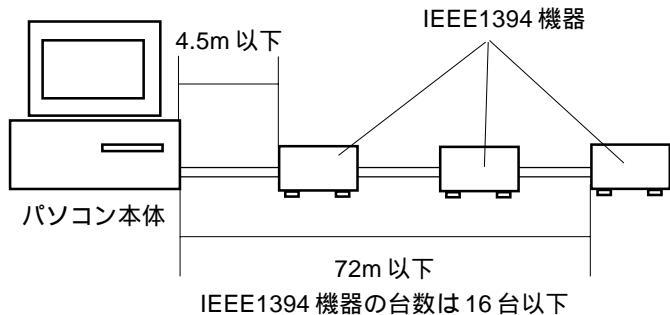
「システム環境設定」ウィンドウの一覧の中から「省エネルギー」をクリック。

「省エネルギー」ウィンドウで「スリープ」タブが選択されていることを確認。

「スリープするまでの静止している時間」を「しない」に設定してウィンドウを閉じます。

4.3 IEEE1394 機器の増設について

IEEE1394 コネクタを2個装備しているIEEE1394機器は数珠つなぎ(デージーチェーン型)に増設することができます。本製品はコネクタが1つですので終端にしか接続できません。)



このような接続を行う場合、一本のケーブルの長さは最大4.5mまで、ケーブル長の合計は最大72mまでに制限されます。また、IEEE1394機器の台数は16台以下(パソコン本体を含まない)に制限されます。



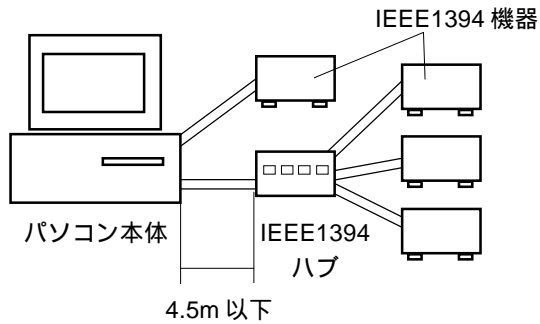
ご注意

デージーチェーン型に増設する場合、ホットプラグ(電源がONになっている状態での取り外し)を行う機器は終端に接続してください。中間にある機器をホットプラグで取り外すと、他の機器に影響を与える場合があります。

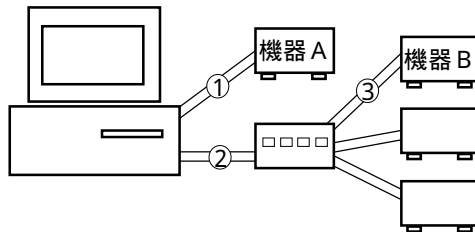
IEEE1394コネクタを複数装備したインターフェースカードや、IEEE 1394ハブを使用すると、接続を分岐させて「ツリー型」に増設することができます。(次ページ上図参照)

この場合も1本のケーブルは最大4.5m以下です。接続台数は62台以下(パソコン本体を含まない)ですが、Windows環境ではストレージ機器の台数はドライブ文字の限界(A:~Z:でシステムが使用していないもの)に制限されます。

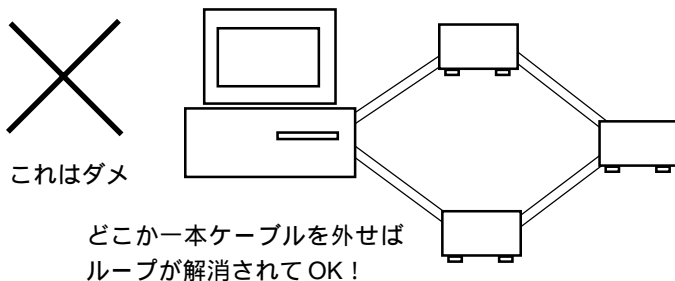
4.3 IEEE1394 機器の増設について



また、ツリー型の場合、IEEE1394機器間で経由できるケーブルの本数に最大16本という制限があります。例えば下図の「機器A」と「機器B」の間には3本のケーブルが使用されています。このようにカウントしたときに、どの機器の間にも16本を越えるケーブルがあってはならないという制限です。



ツリー型の接続では接続形態が複雑になりがちですが、接続の中にループ（たどっていくと元に戻ってしまうような接続）があってはけません。



4.4 オプション品について

弊社ではインターフェースボードやACアダプタ、IEEE1394ケーブル等を別売のオプション品として取り扱っております。オプション品のお求めは、お買い求めいただいた販売店またはロジテックの安心オンラインショップ「ロジテックダイレクト」にてお求め下さい。

ロジテックダイレクトホームページ

<http://www2.ld.logitec.co.jp/>

ACアダプタ

型番	備考
LA-15WCS	LMC-CA92F用

IEEE1394 ケーブル

型番	長さ	備考
CB-I64-011S	1.1 m	6ピン-4ピン
CB-I64-006S	0.6 m	6ピン-4ピン

インターフェースボード

PCIバス用 IEEE1394 インターフェースボード

型番	バス	備考
LHA-1394V	PCI	インターフェースボード単体
LVC-MG 2L		ビデオ活用キット

CardBus 対応 IEEE1394 インターフェースカード

型番	バス	備考
LPM-CB 1394L	CardBus	インターフェースカード単体

ハードウェア仕様

製品型番		LMC- CA92F	
搭載スロット		マルチカードスロット × 1 PCMCIA (TYPE) × 1	
使用可能カード		メモリーステック SDメモリーカード マルチメディアカード SmartMedia CompactFlash *1 microdrive *1 *2 xD ピクチャーカード*1 Flash-ATA カード ハ - ドディスクカード*2	
最大データ転送速度 *3		400 Mbps	
インターフェース		IEEE 1394a - 2000	
コネクタ形状		IEEE 1394コネクタ (6 ピン)	
環境条件 *4	動作時	温度	10 ~ 35
		相対湿度	20 % ~ 80 %
	保管時	温度	- 20 ~ 50
		相対湿度	10 % ~ 90 %
入力電圧	バスパワー時	DC + 8 V ~ + 30 V	
	ACアダプタ接続時	DC 12V	
消費電力	バスパワー時	2.5 W (最大)	
	ACアダプタ接続時	3.6 W (最大)	
外形寸法	(幅 × 高さ × 奥行き)	98 × 27 × 125 mm *5	
質量		約 160 g *6	

*1 PC カードアダプタが別途必要です

*2 その他のメモリーカードとの同時使用はできません

*3 理論値

*4 ただし結露なきこと

*5 突起部を除く

*6 本体のみ

